日本生産管理学会関西支部 メールマガジン
第 17 号　　2023.4.2

【目次】
【1】学会 HP での支部紹介開始
【2】支部メンバーコラム　（テクノバ株式会社　代表取締役　弘中泰雅先生）
【3】各研究会(全国・支部)の活動
【4】他支部、他学会、その他関連講演・講習会等の案内
【5】その他お知らせ・ご連絡

♪==♪==♪==♪==♪==♪==♪

日本生産管理学会関西支部・メルマガ受信希望者各位

大阪学院大学の葛西です。
4 月になりました。新しい期の始まりです。今年は桜も早く、心なしか新しい期の準備も早く進んだ気がします。桜は樹齢が進むと、開花が早くなるといいます。木も年を重ねると、花を咲かせるという仕事に対して、知識と経験が積みあがるのでしょうか。春を待つ人の心を感じ取っているのかもしれません。
関西支部の活動も、少しづつバージョンアップさせていければと思います。今回全国の学会 HP に支部活動も掲載できるようになりました。ぜひご覧いただき、忌憚のない意見をいただければと思います。
寒暖差はまだ大きな時期、お身体には十分お気を付けいただき、充実した時間をお過ごしください。

発行:日本生産管理学会関西支部
連絡先:葛西恵里子(ekasai@hi-ho.ne.jp)

【1】学会 HP での支部紹介開始

2 月 4 日の支部総会での決定事項にありますとおり、支部の活動をより多くの方に知っていただくために、学会 HP 内の支部活動・関西支部内に、当メールマガジンなど、掲載できるようになりました。
(関西支部が試行として使用するため、「工事中」となっていますが、本番運用を行っています。)
メールマガジンでも記事を取り上げていますが、よりリアルタイムでの情報提供を目指していきます。
また、過去のメールマガジンなど、アーカイブとしての活用もできると思います。

同時に、「研究会活動(全国・支部)」にも、研究会の情報を掲載していきます。
ぜひ HP を活用し、より多くの方に生産管理学会、関西支部に興味を持っていただけるよう、支部の皆様にも周囲の方にお声がけいただくなどご協力をお願いいたします。
学会 HP URL : http://e-jspm.com/
関西支部 URL : http://e-jspm.com/category/kansai/

【2】支部メンバーコラム （テクノバ株式会社 代表取締役 弘中泰雅先生）
毎回支部メンバーから、研究や近況、日頃の関心についてなどを、コラムとして紹介しております。第 9 回目となります今回は、テクノバ株式会社 代表取締役 弘中泰雅先生から寄稿いただきました。

失われた 30 年とトヨタ生産方式

テクノバ株式会社
代表取締役 弘中泰雅

本文は先の福岡の西南大学における全国大会で発表したものを焼き直ししたものです。関西からの参加者は少なかったように感じましたので書かせていただきました。表題に掲げたトヨタ生産方式については日本の生産における無駄取りの代表的なものとして象徴的に用いたもので、トヨタ生産方式のみを失われた 30 年と対比したものではないことはお断りしておきます。

下図は工業統計をもとに日本の製造業の主要な指標について作成したものです。日本中のムダとりの効果によって 2007 年からのリーマンショックによる落ち込みを除いて、付加価値額/人いわゆる生産性は多少の上下はあるものの向上していきました。特にバブルが崩壊した 91 年には多少の落ち込みがありますが、2005 年頃までの生産性の向上には目を見張るものがあります。バブル崩壊までの 5 年間は製品出荷額も急速に伸びていきましたが、その後は波打ちしながらもやや停滞気味です。付加価値額は製品出荷額と相似的に推移しながらも明らかに減少しています。原材料使用額は製品出荷額と相似的に推移してますが無駄取りを行いながらも逆に増加気味です。ところが従事者数は約2/3 迄激減しています。したがって製品出荷額が増えない中で原材料使用額は増加気味でありながら、従事者数が激減してる現象を見れば無駄取とは人の削減であるとしか言えないようにも思います。

生産性の伸びによって給与/人も増加しましたが 2000 年頃には頭打ちになりその後はやや低下気味です。ここにきて慌てて給与の増額を日本中で大騒ぎをしているようですが、現金給与総額は 1991 年頃をピークに減少しています。これは 1991 年頃から製造業従事者が激減したことによるものです。現金給与総額は製造業従事者のみの給与総額額ですが、工業国日本の製造業従事者数はそれなりの比率であるので現金給与総額の減少は国民の購買力低下の一因と言えなくもないと思いますし、これが長年にわたるデフレを引き起こしたと言えなくもないでしょう。ここ 2, 3 年前には企業の余剰資金が話題になりましたが、これは従業員に支払うべき賃金がため込まれたことによるといっても差し支えないかもしれません。余剰資金という払うべきものの出し惜しみがデフレの原因なのではないでしょうか。

確かに付加価値額は 91 年頃まで急速に増加していますが、同時期は急速な円高で原材料が安く購入できたはずですし、実際企業物価指数も低下しています。案外この頃の急速な生産性の上昇はこれら円高等の影響によるものだった可能性があります。にも拘らず日本の多くの企業は人の削減というコストダウンだけに注力し、新規の起業を促がさず、多くの人を斬り即ち多くの低所得者を生み出すことで国内購買力を低下させ、これが失われた 30 年を生み出したといっても過言ではないのかもしれません。

生産管理学会にはトヨタ生産方式の信奉者がかなりおられると思いますが、初期の効果はあったと思いますし、日本経済にとって必要なものであったでしょうが、その後の功罪について考えてみる時期が来ているのかも仕入れません。

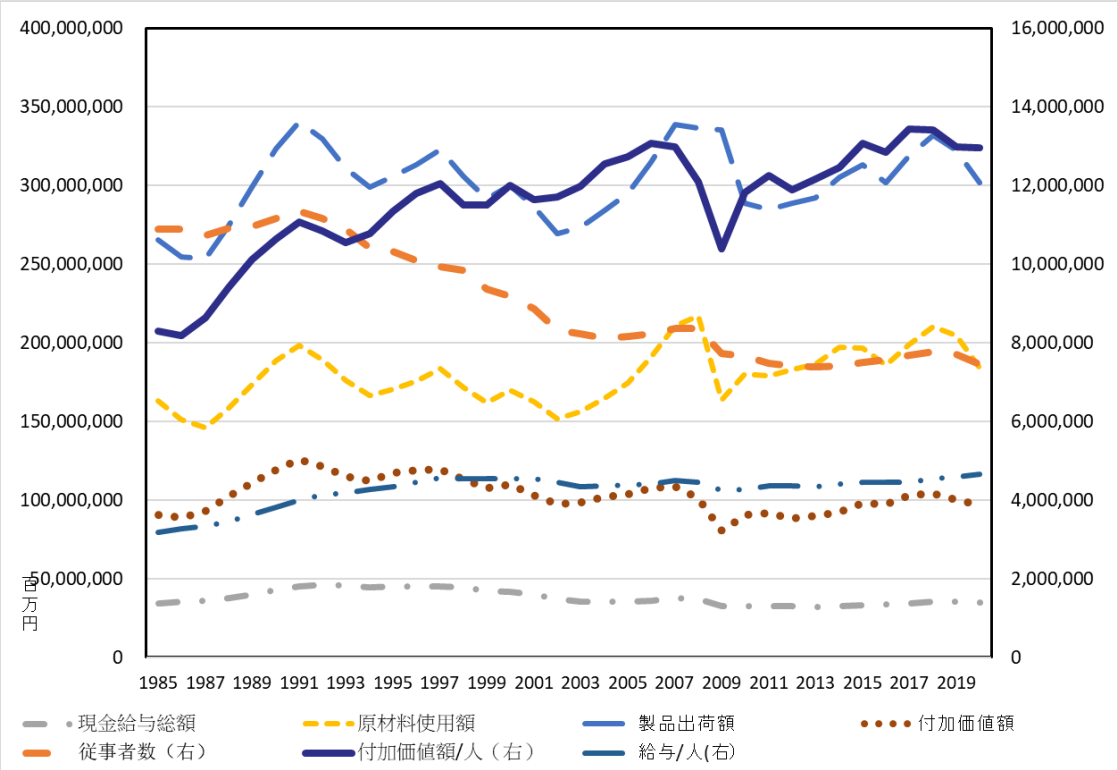

図　最近の日本の製造業の指数推移 （工業統計から作成）

【3】生産管理学会関西支部各研究会(全国・支部)の活動

関心のある研究会がございましたら、直接各「連絡先」までご連絡ください。

＜1＞生産性向上研究会(旧食品産業研究会を発展的に継承)

・次回予定: 4/22(土) 14:00～17:00,
　場所 ： Web 開催
次々回予定:5/27(土),14:00～17:00
　場所 ：対面実施(於スクラムソフトウェア様会議室)及び Web 併用
・連絡先:林　芳樹 (kyo884@khaki.plala.or.jp)

＜2＞SDGs のビジネス戦略研究会

・次回予定: 5/20(土),14:00～17:00
　場所:大阪学院大学　16-03-20 教室
・連絡先:入江安孝(yirie@iriesys.jp)

＜3＞新資本主義研究会 (SDGｓのビジネス戦略研究会と同時開催)

・次回予定: 5/20(土),14:00～17:00
　場所:大阪学院大学　16-03-20 教室
・連絡先:入江安孝(yirie@iriesys.jp)

＜4＞関西生産管理資格制度研究会

・次回予定: 2023 年 4 月 7 日(金)13:30-16:00 頃

場所：大阪学院大学　17-04-11 葛西研究室
・連絡先：柏原秀明（kasihara@mbox.kyoto-inet.or.jp）

＜5＞ブロックチェーン研究会
・次回予定： 未定
・連絡先：森山真光（moriyama@info.kindai.ac.jp）

＜6＞繊維産業研究会（新設）
・次回予定： 5/26（金），20：00～
場所：Web 開催
・連絡先：葛西恵里子（ekasai@hi-ho.ne.jp）
詳細は、次々回のメールマガジンにて紹介の予定です。乞ご期待！

【4】他支部、他学会、その他関連講演・講習会等の案内

<1>【日本経営システム学会】ニューノーマル研究部会
大阪大学の三森先生より、研究会のご案内を頂きました。興味をお持ちの方は、奮ってご参加ください。
＝＝
【ご案内】ニューノーマル研究部会 2023 年度第 1 回会合（通算第 18 回）（知的財産分科会）の開催について
＝＝

■日時：2023 年4月 15 日（土曜日）14 時～15 時 30 分
■開催方法：Zoom を用いて開催
■講演タイトル：「海外からの医薬品原料（APIs：Active Pharmaceutical Ingredients）の輸入～インドの事例～ 」
■講　師　：CADILA PHARMACEUTICALS LIMITED の日本法人　三谷　洋様
■講演内容：2022 年末にインドの人口は中国を上回り世界一となった。経済成長も著しく、2050 年にはインドの GDP（PPP ベース）は米国を抜いて世界第 2 位となるとみられている。インドの主要な産業はなんといっても IT だが、インドは製薬大国でもある。インドの製薬産業は生産量では世界第 3 位。とりわけジェネリック医薬品に強く、世界の供給量の 20%を占めている。最終製品である「医薬品」のみならず医薬品の原薬（API）も多くを世界に提供しており、中国に次ぐ第 2 位の輸出国となっている。今回はインドの医薬品原薬メーカー・CADILA PHARMACEUTICALS LIMITED の日本法人に勤めている三谷様より、インドからの API 輸入の実態についてお話を伺う。後段では、現在日本のジェネリック医薬品メーカーが抱えている課題と、今後予想されるジェネリック業界の再編にも触れる。
■講師略歴：　大正製薬株式会社・大正富山医薬品株式会社で、臨床試験（治験）、薬事申請、市販後副作用調査を担当。発毛剤「リアップ」においてはプロジェクトリーダーを務め、日本初のダイレクト OTC（医療用医薬品を経ずに一般用医薬品（OTC）とするもの）の承認を得た。現在は、インドから医薬品原薬輸入業務に携わっている。NPO 法人リスクセンス研究会、GSEF 顕彰（優れた労働安全研修体感・体験施設を顕彰している）担当理事。

参加方法：以下の URL から出席可否の登録をお願いします。
https://forms.gle/riRNKwWDdoDzZTYB9
ご登録者には後ほど ZOOM 招待状をお送りします。
※ご不明な点がございましたら下記三森先生宛ご連絡ください。
三森八重子·大阪大学招聘教授　dt4y-mtmr@asahi-net.or.jp

【5】その他お知らせ･ご連絡

・支部メンバーコラムへの投稿を募集します!

約１年半にわたり、理事・代議員メンバーを中心に、支部メンバーコラムを寄稿していただきました。
一巡しましたので、この先は一般のメンバーからコラム希望者を募集したいと思います。
内容は各自が普段お考えになっていることをつれづれなるままにお書きいただければと思います。
ご本人の署名記事となりますので、ご自身の思いをメンバーや一般の HP 閲覧者に知っていただくよい機会になると思います。
基本的に不適切な場合を除き、内容については寄稿されたものをそのまま掲載いたします。
奮ってご寄稿ください。

・次回メルマガ情報提供のお願い

本メルマガは、関連の皆様の情報で作り上げていきます。
以下の情報をお持ちでしたら、末尾「連絡先」までご一報ください。
なお、次回発行は 2023 年 6/上～中旬を予定しています。
2023 年 5/末を目途に連絡をいただけると幸いです。
◎署名記事を募集します。ぜひ日頃皆さまがお考えのことをご披露いただき、議論の場にしていければと思っております。
◎他学会・他支部、その他関連講演会、書籍出版等、の情報があればお知らせください。

・読者募集・拡散のお願い

本メルマガは、支部内外・学会内外に関わらず、拡散歓迎です。
生産管理に興味をお持ちの方に広く知っていただけますと幸甚です。継続して受信希望のある方は、直接送付いたしますので、末尾「連絡先」までご一報ください。
また、Facebook の**フォロー/いいね!**もぜひお願いいたします。
Facebook 一般社団法人日本生産管理学会関西支部 のページ
https://www.facebook.com/jspmkansaishibu/
★内容に関するご意見・ご質問も大歓迎です。

本日の内容は以上です。

発行:日本生産管理学会関西支部
連絡先:葛西恵里子(ekasai@hi-ho.ne.jp)

---

*このメールは日本生産管理学会関西支部会員および学会内外の希望された方へ配信しています。
また、このメーリングリストに登録の各位のアドレスは、生産管理学会のリストと同期できません。
アドレス変更をされる場合は、上記連絡先までご一報ください。